



今北山古墳復元イラスト画(橋本技術株式会社)

歴史講演会開催

近年の発掘調査によって市東部の今北山・磯部・弁財天古墳群で発掘された北陸最古級の大型前方後円墳等について、考古学の最前線で活躍する専門家に講演いただき、遺跡が築かれた歴史的背景を北陸地方全体の墳墓や古墳の様相から解説していただきます。

2019年 11月16日 [土]

[場所] まなべの館 [時間] 14時~16時

[定員] 60名(先着順) [料金] 無料(事前申込不要)

※定員に達した場合は立ち見となります。常設展示室のご見学は別途観覧料が必要です。



[講師] 高橋 浩二氏 富山大学人文学部教授

1969年生まれ、茨城県つくばみらい市出身。富山大学大学院人文学研究科卒業。弥生時代から古墳時代が専門で、近年は富山市杉谷古墳群の発掘調査を行なっている。また、縄文時代から古墳時代におけるヒスイの生産や流通に関しても研究をすすめている。

主な著書

- ・講座 日本の考古学 7古墳時代(上)/青木書店(共著)2011年
- ・季刊考古学別冊19 若狭と越の古墳時代/雄山閣(共著)2013年
- ・大集結 邪馬台国時代のクニグニ/青垣出版(共著)2015年

古墳時代 コシの弥生

— 墳墓・古墳から見る、コシの夜明け —